

事務事業名		スポーツ教室開催事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり			担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	3	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			担当係	市民スポーツ係	担当課長名	関口吉丸	
	施策	1	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備			新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1	生涯スポーツの推進			実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業
	15023	一般	10	5	1	予算細事業名		任意の事業・義務的の事業		任意の事業
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	年度～ 年度		根拠法令 条例等	実施方法		直営	
							事業分類		講座・教室・イベント等開催事業	
							リーディングプロジェクト		該当	
							市長マニフェスト		3-14	

1. 事務事業の現状把握[DO]

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)				平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)						
市体育協会各専門部、平成27年度より総合型地域スポーツクラブに講師と教室運営を依頼し、予算の範囲内でスポーツ教室を開催する。対象・定員は各教室で様々である。				【開催した教室】13競技16教室 ソフトテニス、バレーボール、わんぱく陸上、わんぱく卓球、テニス、剣道、弓道、ゴルフ、サッカー、柔道、わんぱくスキー、わいわいバドミントン、レスリング						
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)		
		教室の活動日数	日	96	102	121	115	100		
		講師数	人	36	39	64	50	50		
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市民		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)		
		人口	人	123,182	122,582	121,522	120,683	120,018		
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
市民スポーツの普及・発展の一環として、地域に根ざしたスポーツ活動を支援することにより、総合型地域スポーツクラブ活動の一助とするともに、スポーツ指導者等の活用を図る。				成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
				スポーツ教室参加者数	人	463	462	535	418	600
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
スポーツ・レクリエーションに親しんでもらう。				上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
				週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民	%	40.7	40.6	38.5	40.5	45.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	194	315	408	425	470					
	一般財源	千円	653	719	764	714	661					
	事業費計(A)	千円	847	1,034	1,172	1,139	1,131					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			報償金	728	報償金	798	報償金	866	報償金	868	報償金	810
			消耗品費	16	食糧費	38	食糧費	28	消耗品費	36	食糧費	44
			傷害保険料	103	消耗品費	24	消耗品費	56	食糧費	43	消耗品費	48
					傷害保険料	134	傷害保険料	180	損害保険料	166	傷害保険料	184
					使用料・賃借料	40	使用料・賃借料	42	使用料・賃借料	26	使用料・賃借料	45
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5				
	のべ業務時間	時間	70	80	80	80	80					
	人件費計(B)	千円	272	311	311	311	311					
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,119	1,371	1,791	1,791	1,791					

B表(事後評価シート)

事務事業名	スポーツ教室開催事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	市民スポーツ係
-------	------------	-----	---------	-----	-----------	-----	---------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和56年に文部省の補助事業として始まった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	競技スポーツから、初心者、初級者向けのスポーツ機会の提供、健康を維持するためのスポーツに変化してきている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	教室活動施設に限られているため、もっと身近な会場で開催してほしいとの意見がある。教室に係るすべての消耗品は市で準備するべきといわれている。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	実施時期、広報時期を前倒した。例年の参加者数、体協専門部の状況を考慮し種目の見直しを図った。総合型地域スポーツクラブとの連携事業として開催し、総合型地域スポーツクラブのPRも含めた相乗効果を狙った。
事業統合・連携	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	スポーツ教室への参加はスポーツ愛好家の増加につながり、市の生涯スポーツの振興となるため結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	普段スポーツ活動を行っていない市民に対し、多種目の教室を開催することにより普段行うことのできない競技への関心等をもっていただく。また、全教室に講師を派遣し、初心者から競技者まで幅広く活動を行うことができる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	一般市民向けのスポーツ教室であり、対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がかなりある	理由・改善案	いくつかの教室については、すでに活動を行っているクラブ員等の参加申込が多く、本当の意味での初心者を対象とした教室が開催できていない場合がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案	類似事務事業名 体育協会支援事業、総合型地域スポーツクラブ支援事業 体育協会各専門部に依頼し、主管してもらっている。また、市民がスポーツに親しむことのできる環境を作るという点で総合型地域スポーツクラブと類似している。種目によっては総合型地域スポーツクラブと連携できる。
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	人件費の削減余地がある	理由・改善案	教室実施に関して、主管する専門部、クラブにアウトソーシングするものの、事務手間が結構あり、かかる人件費を減らすように努力していきたい。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	民間のスポーツ教室と比較しても安価であるが、競技を普及させるきっかけとして行政がかかわる事業とすれば適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	総合型地域スポーツクラブにおけるスポーツ教室だけでは十分とはいえないので本事業は必要である。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性		(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																	
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	事業統合・連携	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																		
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		コスト																		
参加者のレベルは、従来のスポーツの裾野を広げることを目的とした教室とし、市体協に加え新たに総合型地域スポーツクラブと連携したものとする。国体やオリンピックムーブメントに乗せてスポーツ教室参加者を増やす雰囲気づくりに力を入れていくものとする。アスリート向けのスポーツ教室は「競技スポーツ振興事業」で取り扱うものとする。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×
		削減	維持	増加																
成果	向上	○																		
	維持			×																
	低下		×	×																